

第 19 回 理工系大学院生 研究交流事業

- Winter Institute -

ホスト研究機関用 プログラム説明書

2011年6月

2011年9月 (改訂)

委託	財団法人	日韓文化交流基金 (JKCF)
主催	財団法人	日韓産業技術協力財団 (JKF)
運営	社団法人	科学技術国際交流センター (JISTEC)
協力	韓国	研究財団 (NRF)

目次

1. 日韓産業技術協力財団について	2
2. 実施要領	
(1) 概要	2
(2) 目的	2
(3) 参加実績	2
(4) 主催および運営機関	3
(5) 実施時期	3
(6) 対象受入研究機関	3
(7) 研究生応募資格	3
(8) 選考について	3
(9) スケジュール	4
(10) 支援費用	4
(11) ホスト研究機関の受入に伴う対応のお願い【窓口担当者】	6
(12) ホスト研究機関の受入に伴う対応のお願い【ホスト研究者】	7
(13) 宿舎	8
(14) 保険	8
(15) 受入に際してのご注意、ご依頼事項	9
3. 研究研修期間中の制約等	10

添付資料

添付1-1: 研究助成金請求書（記入例）＜個人申込＞	11
添付1-2: 研究助成金請求書（記入例）＜機関申込＞	12
添付2: 研究研修スケジュール	14
添付3: 研究研修報告書	15
連絡先	22

1. 日韓産業技術協力財団について

(1) 設立経緯

1992年6月、日韓両政府首脳会談で「日韓貿易不均衡是正等のための具体的実践計画」が合意され、日韓両国にそれぞれ「産業技術協力財団」を設立することが決定されました。

これを受けて同年12月に、「財団法人 日韓産業技術協力財団」(JKF)は、日韓両国間における産業技術協力の促進を目的に設立されました。

(2) 事業内容

韓国の中堅・中小企業の産業技術力の強化・向上等をはかる。

- ① 産業技術人材育成への支援と協力
- ② 生産性向上・品質向上等への支援と協力
- ③ 産業技術並びに産業人の交流促進
- ④ セミナーの開催、調査研究と広報の推進

本事業は上記項目①に基づいた事業の一環として実施するものです。

2. 実施要領

(1) 概要

韓国の大学院生(修士、博士課程者)40名程度を日本に招聘し、独立行政法人、国立研究機関等(大学及び大学に付属する研究所を除く)で専門分野の研究研修を7週間程度行います。

(2) 目的

本事業は、日本での研究姿勢・方法の体験(研究研修)を通して、産業技術の日韓共同研究のきっかけ作りと強化推進を支援するものです。この活動は、日韓産業技術交流を促進するための人間関係づくりを目的として、もって両国産業技術力の向上を期待するものです。

(3) 参加実績

平成5年度(第1回)以降の参加人数は、以下のとおり合計656名になります。

平成5年度	23名	平成6年度	38名	平成7年度	39名
平成8年度	39名	平成9年度	41名	平成10年度	49名
平成11年度	48名	平成12年度	44名	平成13年度	44名
平成14年度	47名	平成15年度	38名	平成16年度	40名
平成17年度	20名	平成18年度	20名	平成19年度	19名
平成20年度	34名	平成21年度	35名	平成22年度	38名
平成23年度	40名(予定)				

(4) 主催および運営機関

本事業は、日本外務省の支援のもと、日本政府の JENESYS Programme の一環として、財団法人 日韓文化交流基金(JKCF)との業務委託により、財団法人 日韓産業技術協力財団(JKF)が主催し、社団法人 科学技術国際交流センター (JISTEC) が韓国研究財団(NRF)の協力を得て運営します。



Japan East Asia Network of Exchange for Students and Youths (JENESYS)

(5) 実施時期

平成24年1月5日(木) ～ 2月18日(土) 約7週間

(研究所での研修期間：平成24年1月10日(火) ～ 2月16日(木) 約6週間)

(6) 対象受入研究機関

独立行政法人、国立研究機関等

(対象外：大学、大学付属研究機関、大学共同利用機関法人、民間研究機関)

ただし、研究生の研修場所は、東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、栃木、山梨、静岡県、長野県、新潟県、富山県、岐阜県、愛知県、石川県、福井県、滋賀県、三重県、奈良県、和歌山県、大阪府、京都府、兵庫県に限ります。

(7) 研究生応募資格

1. 韓国籍を有し韓国に在住する者で、理工系の博士課程又は修士課程に在籍する者(休学者は除く)
2. 満35歳以下の者(誕生日が1976年3月1日以降の方から対象)
3. 研究研修テーマが「産業技術」と関連している者
4. 研究研修活動に支障のない健康な者
5. 日本での研究研修を遂行するために支障のない程度の日本語もしくは英語力を有すること
6. ただし「兵役」、「他研究プログラムへの参加」、「研究者徴兵免除制度受験」、「就職面接試験」、「就職」等によりキャンセル、辞退する可能性のある者は除く

(8) 選考について

応募者が多数の場合は、以下の条件を多く満たしている者を優先します。

1. 成績が優秀な方
2. 国内外での論文発表経験がある方
3. 知的財産権を持っている方
4. 語学能力が優秀な方(英語、日本語)
5. ホスト機関、研究者から受け入れ承諾書がある方

(9) スケジュール

事項	実施スケジュール
韓国内募集期間	7月11日(月)～9月16日(金)
【ホスト研究機関】受入検討依頼	9月下旬
【ホスト研究機関】受入回答締切	10月17日(月)
応募者からの参加回答締切	11月1日(火)
JKF(JISTEC)より各研究機関へ研究生決定の通知	11月7日(月)
韓国での研究生向けプログラム説明会	11月24日(木)
ホスト研究機関向け説明会	12月2日(金) 10:30～12:00
入国、ガイダンス	1月5日(木)
開講式、導入研修、文化研修	1月6日(金)～1月7日(土)
各研究機関にて研究研修活動	1月10日(火)～2月16日(木)
課外研修	1月21日(土)
研究研修活動報告会、修了式	2月17日(金)
帰国	2月18日(土)

*予定は変更の可能性があります。

(10) 支援費用

[受入研究機関]

研究助成費 (研究生1人受入れにつき、70,000円)

(例：同研究者1人が2人受け入れる場合は、14万円となります。)

研究助成費の利用用途	研究生のために、研究に関する資料、実験関連用品、他機関訪問、国内出張にご利用ください。
研究助成金の受取口座	研究機関口座または個人口座
請求期日	2011年12月22日(木) 必着
請求方法	必要事項を記入の上、捺印し、 JISTECまで郵送 <参考> 研究助成金の申込方法：P11-13
請求書郵送先	〒112-0001 東京都文京区白山5-1-3 富山会館ビル5F (社) 科学技術国際交流センター 事業部 WI担当宛
助成金振込予定日	2011年1月上旬
領収書等の提出	不要

*研究助成金請求書フォーマットは、11月中旬頃、JISTECよりメールにてデータを送付致します。

***助成金が研究機関として受取不可の場合：**

対応	実費支給
実費対応可能額	研究生1人受入れに付き、上限70,000円まで
領収書等の提出	要
領収書の宛名	受取口座の名前と同一のものに限る
利用用途	研究生のために、研究に関する資料、実験関連用品、他機関訪問、国内出張にご利用ください。
受取口座	研究機関口座または個人口座
請求期日	2012年2月17日（金）
請求方法	研究生の研究のために購入した物品または交通費等の領収書等をご郵送ください。合わせて、指定の請求書に必要事項を記入の上、捺印し、 JISTECまでご郵送 ください。 <参考> 研究助成金の申込方法：P11-13
請求書郵送先	〒112-0001 東京都文京区白山5-1-3 富山会館ビル5F (社) 科学技術国際交流センター 事業部 WI担当宛
助成金振込予定日	2012年2月24日（金）

*研究助成金請求書フォーマットは、11月中旬頃、JISTECよりメールにてデータを送付致します。

[研究生]

往復航空運賃（航空券で支給）、宿舍費（光熱費含む）、食費、通勤交通費を含む日当1人あたり日額3,000円程度（日当は到着した日から帰国する前日までとする。）、日本語研修費、日本語研修地までの交通費、文化研修費、課外研修費（昼食、夕食含む）、自転車貸与費（つくば地区）

***上記の手配は全て、JISTECにて行います。**

(11) ホスト研究機関の受入れに伴う対応のお願い 【窓口担当者】

<受入決定前のご対応：7月～10月>

- ① **【7月中旬～8月中旬】**
応募者より問い合わせがあった場合、応募者に受入れ可または不可の回答
(この段階での受入れ可能の回答は、選考合格となる意味ではありません。)
- ② **【7月～8月】**
JISTECからの問い合わせ（窓口担当者の確認依頼等）の対応
- ③ **【9月中旬～10月中旬】**
応募者とホスト研究者とのマッチング作業
* 韓国での第1次審査を通過した応募者の応募書類一式を JISTEC から送付し、
受入れの可否の判断をしていただきます。
必要に応じ、応募者とホスト研究者のマッチング作業をお願いする場合があります。
- ④ **【11月中旬】**
JKF より発出する正式受入依頼文書の受理

<受入決定後のご対応：11月～12月>

- ① **【12月上旬】**
ホスト研究機関向け説明会への参加のご協力
- ② **【12月下旬まで】**
研究助成金の申込手続き <参考> P11・13
*研究助成金請求書フォーマットは、JISTEC よりデータを送付します。
- ③ 必要に応じ、JISTECに宿舎等の情報提供

<研究生来日受入後の対応：1月～3月>

- ① **【研修日前日または当日】**
必要に応じ、宿舎までの移動時の研究生の出迎えをお願いすることがあります。
- ② **【研修日初日】**
研究機関でのオリエンテーションの実施
* 研究所の概要説明、施設紹介、就業規則、時間外研修の有無
- ③ **【1月下旬～2月上旬】**
JKF、JISTECのホスト研究機関訪問、ヒアリングのご協力
・ 必須参加者：研究生、ホスト研究者
・ 任意参加者：窓口担当者
・ 場所：貴研究所
- ④ **【2月中旬】**
研究生の研究研修報告会、フェアウェルパーティーへの参加のご協力
- ⑤ **【3月中旬】**
JKFより発出する正式御礼状の受理
- ⑥ 必要に応じ、研究研修全般の指導

(12) ホスト研究機関の受入に伴う対応のお願い 【ホスト研究者】

<受入決定前のご対応：7月～10月>

① 【7月中旬～8月中旬】

応募者より問い合わせがあった場合、応募者に受入れ可または不可の回答

(この段階での受入れ可能の回答は、選考合格となる意味ではありません。)

② 【9月中旬～10月中旬】

研究生の受入検討

*韓国での第1次審査を通過した応募者の応募書類一式をJISTECから窓口担当者に送付し、受入れの可否の判断をしていただきます。

*研究生の受入れが決定した際は、JKFより正式受入依頼文書を窓口担当者に送付致します。

<受入決定後のご対応：11月～12月>

① 【来日前までに】

研究テーマ等についての研究生とのやり取り

② 【12月初旬】

ホスト研究機関向け説明会への参加のご協力

③ 【12月下旬まで】

研究助成金の申込手続き(個人請求の場合) <参考> P11

*研究助成金請求書フォーマットは、JISTECよりデータを送付します。

<研究生来日受入後の対応：1月～2月>

① 【研修日前日または当日】

必要に応じ、宿舎までの移動時の研究生の出迎えをお願いすることがあります。

② 【研修期間(1月10日～2月16日)】

・研究生への研究指導、監督

・研究生の研究内容の確認、研究研修スケジュールの承認 <参考> P13

*研究研修スケジュールフォーマットはJISTECより研究生にデータを送付します。

・必要に応じて、研究生の出張、学会の参加等の承認、アドバイス等

・研究生の研究研修報告書*の監修、承認

*研究研修報告書フォーマットはJISTECより研究生にデータを送付します。

③ 【1月下旬～2月上旬】

JKF、JISTECのホスト研究機関訪問、ヒアリングのご協力

・必須参加者：研究生、ホスト研究者

・任意参加者：窓口担当者

・場所：貴研究所

④ 【2月中旬】

研究生の研究研修報告会、フェアウエルパーティーへの参加のご協力

⑤ 【2月下旬締切】

本プログラムに関するアンケート実施のご協力

(13) 宿舎

宿舎の手配は、原則 JISTEC にて行います。(ただし、機関所有の宿舎を手配する場合はご協力をお願いします。)

期間		その他地区	つくば地区
1/5-7	オリエンテーション期間	二の宮ハウス つくば市二の宮 1-6-2 TEL: 029-858-7000	二の宮ハウス (一部の研究所について、研究研修期間は通勤距離に応じて、研究所の宿舎/ホテル等を利用する場合があります。)
1/10-2/16	研究研修期間	研究所の宿舎またはホテル等	
2/17-18	研究研修終了後	ホテルグランド東雲 茨城県つくば市小野崎 488-1 TEL: 029-856-2211	

(14) 保険

万が一に備えて、学生は以下の 2 種類の保険に加入しております。

a. 海外旅行傷害保険

- ・本人の疾病等

b. 損害賠償責任保険

- ・本人の過失により、研究設備等を破損した場合
- ・研究施設内で事故により他人にけがをさせた場合

保険内容	施設・業務遂行リスク	受託物リスク
適用	第三者(対人・物)に損害を与えた場合	借用物の破損・紛失の場合
補償額	1 事故あたり最高 3 億円まで	5000 万円が上限
免責	なし	5,000 円(損害額が 20,000 円の場合は、15,000 円が支払われる。5,000 円以下は損害賠償対象外)
提出書類の有無	必要に応じた証明書類(後付可能)	借用書等の証明書類(後付可能)

保険適用外リスト： × 通勤時の事故 × 出張時の旅行の事故 × 自動車事故

*受託物リスク：もし 5,000 円以下のものを破損・紛失した場合

研究生から賠償額実費を受入研究機関にお支払します。

(15) 受入に際してのご注意、ご依頼事項

1. 研究生の一時帰国および早期帰国

研究活動中の一時帰国および早期帰国は、原則として認めていません。研究研修期間中の国外における学会参加の場合も認められません。研究生の親族の危篤又は死亡等の特別な理由がある場合のみ、協議の上、研究研修に支障をきたさない範囲内で一時帰国を認めることとなっています。なお、研究生はホスト研究者およびJ I S T E Cにすぐ連絡し、書面でも願い出る事となっています。

2. 研究生の研修研究活動中の休暇

研究活動中の休暇(=平日)は、原則として認めていません。

3. 研究生の病休

風邪、インフルエンザ等で病休する旨、連絡が入った場合には、休ませて問題ありません。JISTECに連絡等の必要もございません。(JISTECは、研究生本人から連絡をもらうため)

4. 知的財産権

知的財産権については、原則としてホスト研究機関に所属すると考えて差し支えありません。ただし、研究生とホスト研究機関が個別に契約を結ぶ場合、その内容が優先され、また研究生にも交渉の権利がございます。

5. 研究生の位置づけ

研究生を客ではなく研究グループの一員として遇し、なるべく継続的な研究に参加させていただくようお願い申し上げます。

6. 他研究機関等の訪問

所内の他研究者との交流または他の研究所等の訪問機会をできるだけ設けていただくようお願い申し上げます。将来的な意義を考えた場合、研究者のネットワーク作りは重要な役割を果たすと思われます。その際の費用は、研究助成金70,000円の中から捻出をお願い申し上げます。

7. 課外研修：1回（1月21日（土）を予定）

終日、研究生全員出席を原則としておりますので、研修スケジュールに御配慮ください。

3. 研究研修期間中の制約等

- (1) 研究生の韓国側の身元保証人はNRFとし、日本側の身元引受人はJKFとする。
- (2) JKF、NRF、またJISTECは研究生の来日後の疾病、負傷等が当該研究機関等の責に帰すべき事由によらない限り、一切の責任を負わない。
- (3) JKFは次のような理由により、研究生が研究研修を続行することが困難と判断した場合は、JISTEC、当該研究機関並びにNRFと協議の上、研究生の帰国を含む必要な措置をとる。
 1. JKF、JISTECまたはホスト研究者の指示に従わない場合
 2. 語学能力の不足またはその他の理由により、ホスト研究者とのコミュニケーションに相当大きな支障があると判断される場合
- (4) 研究生は日本滞在中、疾病等で体を壊し、研修の継続が困難な場合は帰国する。
- (5) JKFは研究生が日本滞在中に好ましくない行為を行い、又は損害を与えた場合は、その責任において解決するための必要な措置をとる。
- (6) NRF及び韓国大使館は研究生の滞在中に生ずる如何なる問題についても、JKFと協議の上、誠意を持って解決に努める。
- (7) 研究生は知的財産権等の諸問題を含め、当該研究機関の諸規則を遵守する。
- (8) 個人情報の管理および保護をする。
- (9) 書面たると否とを問わず、当該研究所で行った研究研修の成果を公表しようとする場合は、事前に当該研究所の長の同意を得る。
- (10) 研究研修期間中の一時帰国は原則として認めない。

ただし、研究生の親族の危篤又は死亡等の特別な理由がある場合は、当該研究機関と協議の上、研究研修に支障をきたさない範囲内で一時帰国を認める。なお、一時帰国に要する総ての費用は本人の負担とする。
- (11) 研究生は、研修期間中に帰国することができない(家族の不慮は除く)が、研修を途中で放棄して帰国する場合は、航空料および滞在費等の日本側からの支援経費をすべて返納する。
- (12) 家族の同伴は認められない。
- (13) プログラム説明会には必ず参加する。
- (14) 研究生は研究研修の終了に際し、研究研修報告書を当該研究室に提出すると共に、研究研修報告書を指定期日までに関係機関に提出する。また、プログラム終了後も、アンケートや体験談等を関係機関が求める調査に協力をする。

研究助成金請求書（記入例）

ホスト研究者個人にて請求の場合

研究助成金請求書（連絡票）

平成 年 月 日

研究生氏名(英語) **Lee, Seung-Hun**

研究生のID No. **XX-XX**

ホスト研究所名 **ABC研究所**

研究室名 **ABCシステム研究室**

ホスト研究者氏名 **松下 花子** 

連絡先 **03-1234-5678**

研究助成金を辞退します。

研究助成金(研究生受け入れ一人につき¥70,000)を下記銀行口座に振り込んで下さい。

研究助成金(実費)を下記銀行口座に振り込んで下さい。

請求金額 **¥70,000**

(フリガナ)	マツシタハナコ		
名 義	松下花子		
銀行・支店名	茨城	銀行 つくば	支店
口座番号	(普通)	12345678	

赤字の箇所を例にならってご記入ください。

必ず捺印したものを JISTEC まで、ご郵送をお願い致します。


郵送のみ受付

添付1-2

研究助成金請求書（記入例）
ホスト研究機関にて一括請求の場合

研究助成金請求書（連絡票）

平成 年 月 日

ホスト研究機関名 **(独)ABC研究所** 

受入研究生数 **3人** *ホスト研究者名、ホスト研究費名、研究生ID、
研究生名は別添1を参照のこと

窓口担当者名 **山田 花子**

電話番号 **03-1234-5678**

研究助成金を辞退します。

研究助成金を下記銀行口座に振り込んで下さい。

研究助成金(実費)を下記銀行口座に振り込んで下さい。

請求金額 **¥210,000 (3名)** *研究生受け入れ一人につき¥70,000

(フリガナ)	ドクリツホウジンエービーシーケンキュウジョ		
名 義	(独)ABC研究所		
銀行・支店名	茨城	銀行 つくば	支店
口座番号	(普通)	1234567	

赤字の箇所を例にならってご記入ください。
2名以上研究生がいる場合、別添1もご記入の上、提出をお願いします。

研究助成金請求書 -別添 1 (記入例)

ホスト研究機関にて一括請求の場合

研究助成金請求書(連絡票)-別添1

	ID-No.	アルファベット記入		研究室名	研究者名
		研究生名字	研究生名前		
1	11-01	Lee	Jamsil	ABCシステム研究室	佐藤 太郎
2	11-02	Lee	Byong ok	ABCシステム研究室	佐藤 太郎
3	11-03	Kim	Sum sung	ABCシステム研究室	山田 花子
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

研究研修スケジュール(研究生記入)

To: JISTEC(winterinstitute@jistec.or.jp)

ID No. 11-

Name _____

Schedule of Research and Professional Visit

Jan. 10	Tue	
Jan. 11	Wed	
Jan. 12	Thu	
Jan. 13	Fri	
Jan. 14	Sat	
Jan. 15	Sun	
Jan. 16	Mon	Deadline: Schedule of Research and Professional Visit (Via e-mail)
Jan. 17	Tue	
Jan. 18	Wed	
Jan. 19	Thu	
Jan. 20	Fri	
Jan. 21	Sat	Field trip to Tokyo (Please do not enter any schedule on this day)
Jan. 22	Sun	
Jan. 23	Mon	
Jan. 24	Tue	
Jan. 25	Wed	
Jan. 26	Thu	
Jan. 27	Fri	
Jan. 28	Sat	
Jan. 29	Sun	
Jan. 30	Mon	
Jan. 31	Tue	
Feb. 01	Wed	
Feb. 02	Thu	
Feb. 03	Fri	
Feb. 04	Sat	
Feb. 05	Sun	
Feb. 06	Mon	
Feb. 07	Tue	
Feb. 08	Wed	
Feb. 09	Thu	
Feb. 10	Fri	
Feb. 11	Sat	National Holiday
Feb. 12	Sun	
Feb. 13	Mon	
Feb. 14	Tue	
Feb. 15	Wed	Deadline: Essay, Research Report and Questionnaire (Via e-mail)
Feb. 16	Thu	
Feb. 17	Fri	Reporting meeting, Closing ceremony, Farewell party at Tsukuba

第19回(2011年度)
ウィンターインスティテュート

19th Winter Institute (FY2011)

(Jan. 5th ~ Feb. 18th, 2012)

報告書

Research Report

ID-No.: 11- _____

氏名: _____

Name(In block):

研究指導責任者名 _____ 印

Name of Host Researcher

↑ホスト研究者の署名、捺印をお願いします。

氏名 (英字) Full Name in English:

ID-No.: 11-

E-Mail :

所属大学 University:

専攻 Major:

課程 Degree:

専門分野 Major Research Subject:

受入研究所名

Name of Host Research Institute:

研究者名 Host Researcher Name:

職位 Title :

E-Mail :

研究活動 **Research Activities in Japan**

テーマ名 **Research Theme:**

実施内容 **Research Activities details:**

成果 **Research Results:**

本人所見 **Participant's Comments or Opinions regarding Research:**

Daily Research Activity (Actual) ID No.:11- Name:

Date		Details
Jan. 10	Tue	
Jan. 11	Wed	
Jan. 12	Thu	
Jan. 13	Fri	
Jan. 14	Sat	
Jan. 15	Sun	
Jan. 16	Mon	
Jan. 17	Tue	
Jan. 18	Wed	
Jan. 19	Thu	
Jan. 20	Fri	
Jan. 21	Sat	
Jan. 22	Sun	
Jan. 23	Mon	
Jan. 24	Tue	
Jan. 25	Wed	
Jan. 26	Thu	
Jan. 27	Fri	
Jan. 28	Sat	
Jan. 29	Sun	
Jan. 30	Mon	
Jan. 31	Tue	
Feb. 01	Wed	

Feb. 02	Thu	
Feb. 03	Fri	
Feb. 04	Sat	
Feb. 05	Sun	
Feb. 06	Mon	
Feb. 07	Tue	
Feb. 08	Wed	
Feb. 09	Thu	
Feb. 10	Fri	
Feb. 11	Sat	National Holiday
Feb. 12	Sun	
Feb. 13	Mon	
Feb. 14	Tue	
Feb. 15	Wed	
Feb. 16	Thu	

連絡先

【主催機関】

(財) 日韓産業技術協力財団 (JKF)

〒102-0082

東京都千代田区一番町8番地 一番町FSビル 2F

Phone: 03-3222-5231 Fax: 03-5275-7368

事業第一部長 北林 均 h-kitabayashi@j kf.or.jp

【運営機関】

(社)科学技術国際交流センター (JISTEC)

〒112-0001

東京都文京区白山 5-1-3 東京富山会館ビル 5F

Phone: 03-3818-0730 Fax: 03-3818-0750 携帯: 080-3383-8589 (緊急時)

Office hour: 9:30-17:30

事業部長 今宮 綾子 imamiya@jistec.or.jp

主事 畠山 幹子 hatakeyama@jistec.or.jp

【協力機関】

韓国研究財団 東京事務所 (NRF)

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-2 植竹ビル 6F

Phone: 03-3431-7215 Fax: 03-3431-7218

所長 Kim, Jong Hyun kimjh@nrf.re.kr

【宿舎】

二の宮ハウス

つくば市二の宮 1-6-2 TEL: 029-858-7000

TEL: 029-858-7000 FAX: 029-858-7011

Office hour: 9:00-17:00